

シンポジウム

図書委員会の現状と課題

座長 小 河 一 夫 (京都南病院院長)

シンポジスト (発言順)

- 佐々木 正 道 (大阪赤十字病院 第二検査部長 図書委員長)
田 伏 薫 (星ヶ丘厚生年金病院 神経科部長 医学資料室長)
重 富 久 代 (京都市立病院 司書)
植 手 鉄 男 (北野病院 臨床検査部長 図書室長)
足 立 純 子 (聖路加国際病院 医学図書室係長 司書)

座長：ただ今からシンポジウム「図書委員会の現状と課題」をはじめます。この研究会は「病院図書室の管理と運営」をメインテーマに開かれ、そのプログラムの一つがこのシンポジウムです。図書室を設置している病院の多くは図書委員会があり、図書室の運営に関してその役割が重要であることはよく知られております。しかし、今までに我が国で病院における図書委員会についてまとまった議論を持ったことはありません。スタンダードのようなものが書かれたこともありません。そこで、まずそれぞれの病院での委員会の実情

をよく知り、その有りようについて検討をしてみることは、これからの病院図書室の充実にとり大変意義深いことであると思います。

本日は5人のシンポジストの方に所定のテーマについてお話をいただき、その後会場の皆さんも含めて論議を深めたいと思います。

その前に、この研究会に先立ちまして実施されたアンケート調査結果から病院図書室の概況をみておきたいと思います。(表1)

このような図書室の現状を踏まえながら、話を進めていきたいと思っています。

表1 〔図書室の実態〕

対象：病図研 66
病図協 60

回答：71 (56%)

面 積	158 m ²	逐次刊行物	189
利用対象者	554 人	予 算	857 万円
蔵 書	10500 (単行書 5000)	人 員	1.5 人 (司書64% 専任65% 3年未満30%)
年間受入書	231	図書委員会設置率	70%